



第24回「特別研修の集い」久慈大会

日時：令和4年7月21日（金）午前11：00～

場所：ロイヤルパークカワサキ

参加者：101名

『特別研修の集い久慈大会』が7月21日（木）にロイヤルパークカワサキで、9年ぶりに久慈市で開催されました。コロナ禍ということもあり、一部、プログラムを変更するとともに時間短縮して実施しました。

第1部では、平庭観光開発（株）下館社長が「山・里・海を活用した都市と農山漁村の交流」と題して。

山形町には都会にない素晴らしい自然があり、知恵と工夫、そして地域、行政が連携すれば都市との交流が図られる。

これまでの具体的な取り組みを紹介していただきました。



下館社長の講演

第2部では久慈法人会の一年間の活動報告を行い、県内各単位会と情報交換を行いました。

また、第2部に先立ちアトラクションでは久慈中学校マンドリンクラブのマンドリン演奏が会場に美しい音色を届け、会場からは『初めてマンドリンの生演奏を聴いた。』、『とても、素敵！』等々の感嘆の声が上がりました。



みなさん、適切な距離を取ってます

9年ぶりの久慈大会は、コロナ禍による制約が多い中で開催されました。

そのような中、久慈法人会女性部はプログラム変更やおもてなしに工夫を凝らし開催にこぎつけました。

岩手県内女性部会は、“逆境だからこそ一致団結”、“コロナを乗り越える”という決意を確認し、また、各単位会の交流・親交を（静かに）深めた有意義な「特別研修の集い久慈大会」になったと確信しています。



久慈中マンドリンクラブの心の演奏



来年は花北で会いましょう



女性部会みんなで記念撮影